



地区 LCIF 委員会便り

委員会テーマ：「みんなで集めて みんなで使おう LCIF」

2021年
9月

2021～2022年度のテーマは「みんなで集めてみんなで使おう！ LCIF」です。
今年度地区 LCIF 委員会では、335-A 地区のメンバーの皆さんに LCIF の説明を「集める」と「使える」に分けて、わかりやすくお伝えしています。

「使おう！ LCIF」このフレーズには、ご質問を数多くお寄せ頂きます。
今年度はこの質問に対して、地区及びクラブシェアリング交付金（略・DCG）の内容をお伝えするようにしています。

1. クラブシェアリング交付金

昨年度の LCIF 寄付実績が 5000 ドル以上のクラブは翌年度以降（15 年間有効）、寄付を収めた金額の 15% を DCG として使うことが可能です。
この DCG を活用して、令和 2 年度は川西 LC が川西市民の皆さんにコロナ感染予防対策としてアルコールを川西市役所に寄贈しました。

（川西市役所内の全てのカウンターにはライオンズ寄贈のアルコールが置かれています。）



2. 地区クラブシェアリング交付金

昨年度寄付金額が 5000 ドルに達しなかったクラブ寄付金を地区キャビネットが集約し、1 万ドルを超えた場合、クラブシェアリングと同じく 15% を地区シェアリングとして活用できます。

令和 2 年度は「ライオンズ奉仕デー」ののぼりや、清掃道具、「神戸まつり、薬物乱用防止」の横幕の作成費用を地区シェアリングから一部捻出しています。



薬物乱用防止横幕



ライオンズ奉仕デーのぼり

3. 活用の幅が広がるクラブシェアリング

DCGの活用方法として、2 つご提案をさせていただきます。

1 つ目はライオンズクエストワークショップをスポンサーする場合、クラブからの支援金として約 10 万円が必要となりますが、その支援金を DCG で補うことが可能です。

（ワークショップ開催費用に 40 万円がかかります。30 万円はクエスト交付金から、10 万円は DCG から費用を賄うことが可能です。）

2 つ目は DCG 交付金を周年事業（記念アクティビティ）に使用することで、クラブのご負担を少なくすることが可能です。また交付金を活用することにより、規模が大きく充実した記念アクティビティをおこない、クラブをより活発化させることも可能になります。

以上、今年度 LCIF 委員会では上記の内容を説明し、335-A 地区 メンバーがより LCIF を身近なものに感じてもらう活動を地道におこなっています。
今後共に宜しくお願い致します。

